

# 外出自粛高齢者・障がい者等 見守り支援事業について



# 外出自粛高齢者・障がい者等 見守り支援事業交付金①

外出自粛要請やイベントの開催自粛要請等により、地域住民のふれあいや、つながりの機会が一時的に失われること等によって、高齢者や障がい者等の要支援者が孤立や不安を抱えないよう、社会福祉協議会が有する地域のネットワーク等を活用し、見守りや安否確認等を実施

- 実施主体・・・大阪府社会福祉協議会  
※ただし、市区町村社会福祉協議会に配分することができる。
- 実施期間・・・大阪府緊急事態措置が全面解除されるまでの期間  
※必要と認められる場合は、令和3年3月31日まで事業を実施することが可能
- 実施内容・・・高齢者単身世帯、障がい者世帯など支援を必要とする世帯への見守り支援
- 予算額・・・431,969千円

# 外出自粛高齢者・障がい者等 見守り支援事業交付金②

□申請社協・・・41社協（政令指定都市含む）

□連携団体・・・福祉委員会、民生委員児童委員、  
ボランティア、老人クラブ、  
宅配サービス事業者等

□取り組み内容（主な分類）・・・

（当初） 令和2年4月16日～5月21日

- ①電話や手紙等を活用した安否確認
- ②手作りグッズの配布（マスク等）
- ③情報発信（チラシのポスティング等）
- ④パンフレットの作成等
- ⑤配食サービスによる見守り
- ⑥ひきこもりや子どもの支援
- ⑦その他



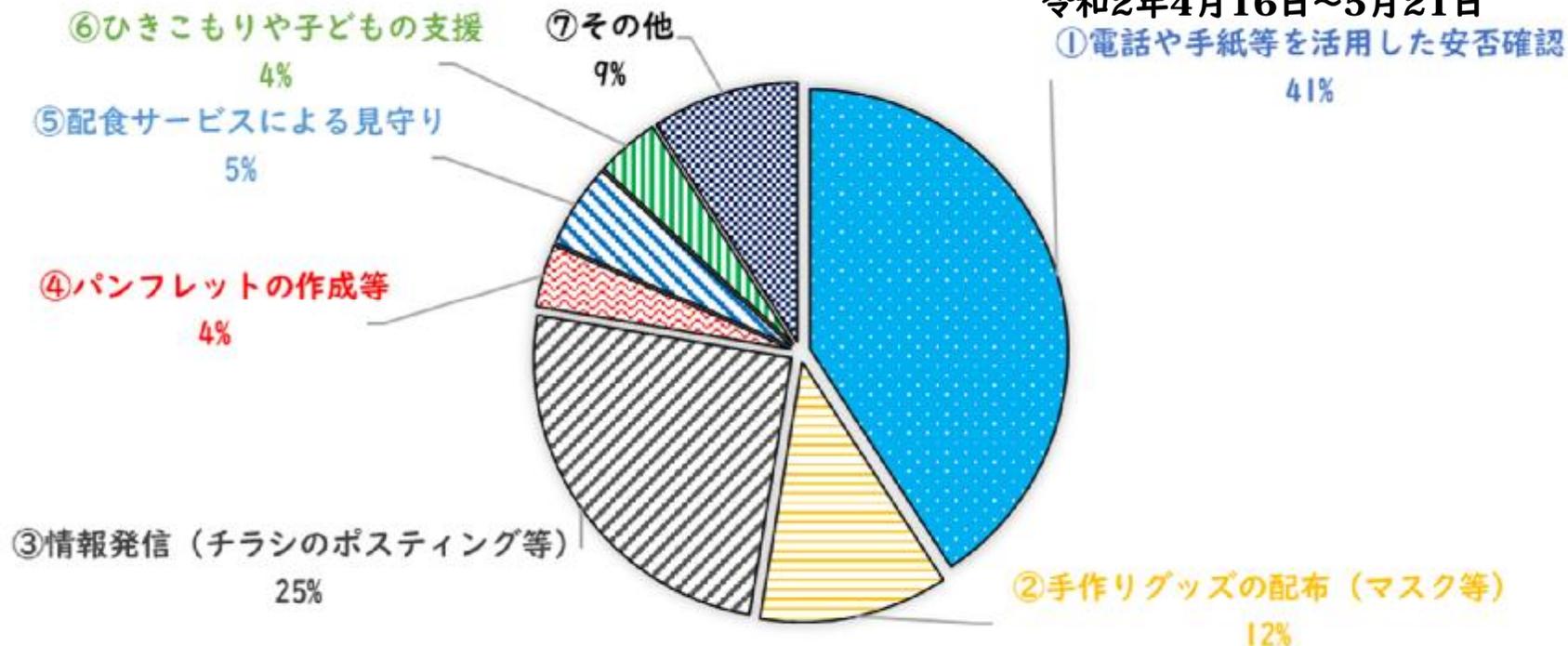
新たな  
カテゴリー

（延長後）令和2年5月21日～

- ①電話や手紙等を活用した安否確認
- ②手作りグッズの配布（マスク等）
- ③情報発信（チラシのポスティング等）
- ④パンフレットの作成等
- ⑤配食サービスによる見守り
- ⑥ひきこもりや子どもの支援
- ⑦学生支援
- ⑧ガイドラインの作成
- ⑨ICTツールの活用
- ⑩アンケート調査
- ⑪その他

## 外出自粛高齢者・障がい者等見守り支援事業交付金事業(当初)

令和2年4月16日～5月21日

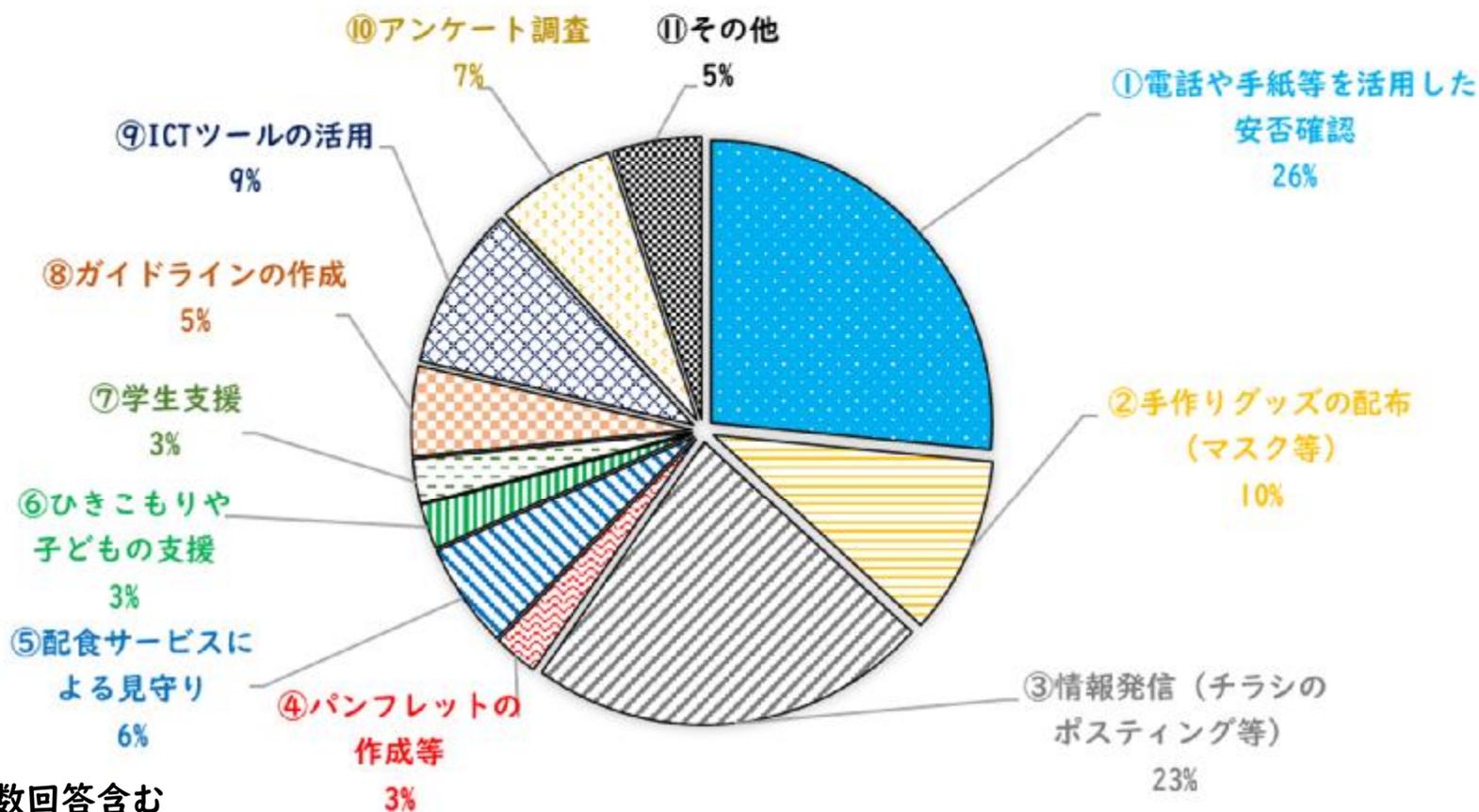


※複数回答含む

- ・「電話や手紙等を活用した安否確認」や「情報発信 (チラシのポスティング等)」が多い。
- ・「その他」は、ICTを活用した見守り活動、かどま折り鶴12万羽プロジェクト、郵便局と連携した見守り、自粛生活の実態調査、健康維持のため防災無線で体操の放送等

## 外出自粛高齢者・障がい者等見守り支援事業交付金事業(解除後)

令和2年5月21日～



・新たな生活様式に向け「ICTツールの活用」や「アンケート調査(高齢者に対する生活実態調査や活動者向けの調査等)」を実施する市町村社協が増えている。また、「学生支援」や地域活動の再開に向けた「ガイドラインの作成」の取組が出てきている。

# 取り組み紹介①

## □豊中市社会福祉協議会・・・

### ■YouTube チャンネルの開設

#離れていても、つながろう

- ①おうちで介護予防チャンネル
- ②地域ニュース
- ③地域福祉学びチャンネル
- ④豊中びと～コロナに負けない絆メッセージ～



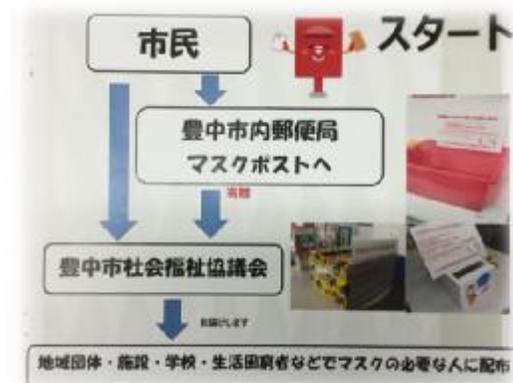
### ■大学生食材応援プロジェクト

バイトなど収入が減った大学生・大学院生にフードドライブで食材支援。市民や休校のため学校給食センターで給食に使わなかったお米などをお届け。



### ■マスクポストプロジェクト

市内の郵便局との連携。未使用のマスクを郵便局の窓口に設置されている「マスクポスト」に投函。市社協から市内の地域団体、施設、学校、生活困窮等マスクの必要な人にお届け。



# 取り組み紹介②

## □池田市社会福祉協議会・・・

### ■お変わりないですか活動

・福祉委員会による安否確認活動

・社協による「お変わりないですか活動通信」の発行

→手紙や電話でつながりを実感。ふれあいサロンや料理教室、見守り活動などを実施している地区福祉委員会が手紙の送付、電話や訪問。「元気が出た!」との返信が多く届いている。

・「新しい生活様式」を意識したつながりづくり

→地域の会合・サロン・居場所の提案と環境整備

ICTの活用検討チーム設置やYouTube動画の配信等



「お変わりないですか?」活動  
たくさんの声が届いています



#### ■活動に取り組んだ福祉委員の声

- ・私の体を労う言葉もいただき反対に元気になりました
- ・電話をかけただけで、すごく喜んでいただきました
- ・はがきを投函したところ「実は家族の認知症が進行し悩んでいる」と電話を頂きました。地域でサポートできることはするし、何かあれば抱え込まずに社協に相談したいよと伝えました
- ・近所の方も参加し、多くの方に声かけできました
- ・こんなときこそ地域のつながりが大切だと思います

#### ■「こんな工夫をしてみました」

- ・お子さんがお家で遊べるようにと、シールを封筒に入れて送りました
- ・インターホン越しで会話をしました
- ・相手の方と出会ったときのちょっとしたエピソードを書いたお手紙を同封して送りました
- ・民生委員へ協力をお願いします
- ・手作りマスクを一緒に渡しました
- ・サロンの写真を同封して送り、懐かしんでもらえました。



#### ■お手紙をもらった方からのお返事

- ・食生活を見直し体調を整えています
- ・早くサロンや行事が再開できることを願っています
- ・障がいの子どもを預けることができず不安です
- ・姉妹で毎日家の中で工夫しながら遊んでいます
- ・子ども3人が家にいるのでご近所、階下の方にご迷惑感だろうと気になっています
- ・早朝にストレス発散のためウォーキングしています

#### ■今後「やってみよう!」

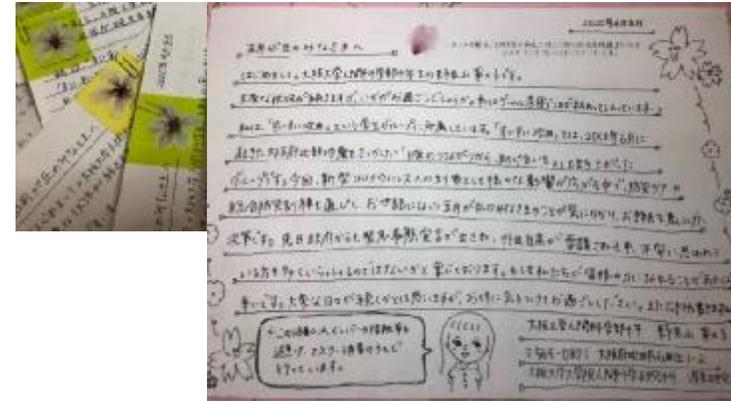
- ・これを機にこまめに情報を持参して、声かけしたい
- ・緊急事態宣言後に何ができるかを考えたい
- ・公園等でラジオ体操をしたい
- ・PC やスマートフォンを使った活動をしてみたい
- ・小さな鉢植えのお花などお届けしたら癒しや楽しみになるのでは
- ・年賀状や配食サービスを考えたい
- ・マスクやごみ袋をポスティングするのはいかが

# 取り組み紹介③

## □吹田市社会福祉協議会・・・

### ■すいすい吹田プロジェクト

大阪大学の学生有志と地区福祉委員会が始めた取り組み。学生が書いた手紙を一人暮らしのお年寄りに届け、手紙のやりとりを通じて心のケアをする活動



### ■つながり通信 胡蝶蘭

コロナ禍における地区福祉委員会や市社協の取り組みを紹介



### ■施設連絡会と連携した取り組み

※社会貢献・地域貢献を目的として市内の福祉施設で組織する団体

#### ・病を打ち払え!つながりうちわ

見守り・声かけ訪問の際のアイテムとして、「つながりうちわ」を作成



#### ・障がい事業所授産品を使って、つながりづくり!

障がい者事業所と連携し、事業所が販売する授産品を地区福祉委員活動に活用いただけるような仕組みを構築



授産品にはつながりシールが貼られています。



#### ・デジタルでつながるオンライン保育園

#### 「きららとあそぼ」スタート!

私立保育園においてオンラインで子育て世代向けの手遊びや歌遊びなどの情報発信



吹田市社協HP (トップページ) にアップされています。

# 取り組み紹介④

## □門真市社会福祉協議会・・・

### ■かどま折り鶴12万羽プロジェクト

市民の「おうち時間」を有効的かつ目的をもって過ごしてもらうため、多くの市民に呼びかけて市の人口と同じ12万羽の折り鶴に挑戦。今後、できた折り鶴を活用したアート作品を展示する予定



### ■子どもの食事の確保事業

学校の休校や親の休業に伴い、必要な食事の確保が困難な子どもたちを対象に、NPO法人や母子寡婦福祉会と連携し、食事（お弁当）等を届けて、健康な食育環境を維持する。

### ■ゆめ伴プロジェクトin門真（事務局：市社協）

・おうちde笑おう!プロジェクト～会えなくても心でつながり、笑い合いたい～

①おうちde笑おう!プロジェクト～笑いヨガ～

→笑いヨガとは「笑う体操」と「ヨガの呼吸法」を合わせたもの。

②おうちde笑おう!プロジェクト～お楽しみ3点セット配布～

→おうちde川柳（一筆箋 3枚）、おうちde折り鶴（折り紙 5枚）、おうちde綿花（綿花の種 5粒）

・高齢者のいきがづくり事業「夢かなえマスク」

手作りマスクを作成し、市内の団体への寄付を行う。

# 取り組み紹介⑤

□阪南市社会福祉協議会・・・

## 新しい「ツナガリ」プロジェクト

■「つながりニュース便」の発行

■返信ハガキでの安否確認



阪南市災害時要援護者登録「くらしの安心ダイヤル事業」登録者約1,400人（ひとり暮らし高齢者など）を対象に送付。自宅でできる体操の手引きやテイクアウトのお店リストなど役立つ情報を発信

外出自粛の影響で、気持ちが落ち込んでいないか等の状況を把握。コロナ撃退ユニーク川柳も募集



封入作業は障がい者授産施設に依頼。

### 返事の内容（一部抜粋）

体力が落ちないか不安、暗いニュースばかりで気持ちが沈むといった体調に関する不安や夜になると不安で眠れないといった一人暮らしに対する不安が声があがりました。また、毎日誰とも話さない寂しい日が続いているので、お便りを頂いて大変嬉しかったなど、つながりの実感したといった声がありました。

### ■電話での声かけ安否確認

各地区の福祉委員や民生委員、ボランティアが携帯等で声かけ安否確認。何かあれば、社協やCSW・地域包括支援センターへ連絡

### ■文通マッチング大作戦

地域の福祉委員やボランティア、子ども福祉委員や泉南学寮（少年院）グリーンサポーターと連携

# 取り組み紹介⑥

## □太子町社会福祉協議会・・・

### ■防災行政無線を活用したおうち体操

「たいしくん元気体操」のチラシを全戸配布し、防災行政無線で体操を放送

全戸訪問するためにポスティング大作戦を実施



### ■お弁当の配食

NPO法人による子ども食堂参加者とその世帯に対する見守り・安否確認を兼ねた配食(毎週木曜日に実施)。対象者宅にお届け。

### ■衛生用品安心パック配布事業

衛生用品安心パック(手指消毒液、除菌シート、ハンドソープ、使い捨てダスター、備品用消毒液、ポリグローブ、非接触型体温計、使用マニュアル)を配布

### ■元気ぐんぐんトレーニング

世話人によるトレーニング参加者への安否確認。低栄養予防レシピ、『貯筋通帳』の配布、おすすめ筋トレメニュー等を配布

# ～工夫と知恵でつながりを～

令和3年度の取組

## 「ウィズコロナ・ポストコロナに対応した地域活動モデルの開発」助成事業

大阪府福祉基金を活用し、地域のネットワークを活かした新たな発想と工夫により、コロナとの共存（ウィズコロナ）に加え、コロナ終息後（ポストコロナ）も見据えた、地域活動モデルに対し助成事業を実施

### ■助成対象団体

大阪府内の市町村社会福祉協議会  
(1団体あたり上限2,000千円)

開発を期待するイメージ

- ◆ICTを活用した地域を超えたつながり
- ◆自宅にしながら社会参加できる仕掛け
- ◆外出が難しい人の健康づくり



### ■助成事業

- ①新型コロナウイルスの感染拡大の影響により生じた地域におけるつながりの喪失や孤立等の地域課題・社会課題の解決に寄与する事業
- ②新たな創意・工夫のもとに取り組む地域活動で、他地域のモデルとなる事業